

CBDCアーキテクチャーに関するディスカッショングループ
(DG1) の第1回会合資料
～DG1で取扱う制度上の論点のイメージ～

2026年6月

日本銀行 決済機構局



ユーザージャーニーに則した制度的論点の整理（暫定）

- DG1では、実際の**CBDC利用の想定シーン（ユーザージャーニー）**に則して、既存システムや民間実務に影響が出そうな論点を設定し、議論を行う。
- 第2回以降の各会合は各想定シーンをイメージしたシステム実務・制度面の論点について深掘りを行う予定。各シーンに関連する制度的論点として、例えば以下のような内容が考えられる（第1回会合時点での仮置きであり、今後変動する可能性）。
- 議論にあたっては、**関係府省庁・日本銀行連絡会議・幹事会等**における検討結果や、**海外中銀のCBDCに関する議論状況**を踏まえつつ、一定の前提を提示したうえでご議論いただくことも想定。

①：口座開廃

- ・ KYC・AML/CFT対応における仲介機関の役割
- ・ 口座数制限/取引額上限

②：払出・受入

- ・ ファンドソース（払出元・受入先）の範囲
- ・ 保有額上限
- ・ オートチャージ/オートスウィング

③：店舗支払いと個人間送金

- ・ 即時決済性（店舗入金での要否・システム負荷等）
- ・ エラー時の処理（反対取引等）に伴う論点